

能登 いまい農場だより 3月号

お買い上げ頂き、ありがとうございます。

田んぼの雪解けが進み、地面が顔を出し始めました。越冬していた白鳥が、北帰行を前に田んぼの餌を啄んでいます。春の気配を感じるようになりました。

皆様、いかがお過ごしですか。

■3月発送分からゆうパック料金が上がりますので、今回は早めにお届けします。

別紙に契約運賃表の抜粋を同封させて頂きました。

■区長と選挙

先月号で書きましたが今年から2年間、小田中集落(戸数107戸)の区長(町会長)を引き受けることになりました。折しも今、石川県知事選のまっただ中、新年互例会や、〇〇候補の後援会の結成、選挙遊説での人の動員など、頼まれごとが多くあります。また、立場上、陳情する機会もあるかと思うと、知らない顔をするわけにもゆかず、区の委員など数人に声を掛けて頼み、選挙の年は大変とやっていきます。幸い能登は昔から保守王国でもあり、今回の選挙も、拮抗した選挙でもないようなのですが、それはそれで、投票率が悪ければ、地域の首長なり、地域の代表として選出されている国会議員や県会議員等の顔にもかかわるといわれ、また旧知のなか、それなりに対応せざるをえません。

■大阪梅田、阪神百貨店での販促が決まりました

20年以上にわたり、生産者の顔が見える商品、常時店頭で、販売してもらっている、当農場が栽培した「有機米・能登こしひかり」生鮮食料品が強い阪神百貨店では、一般的に、産地・生産者は4・5年で変わっています。と言われる中、いまや、1・2位を争う古株の部類に入っています。

梅田の阪神百貨店が改装中で手狭ということもあり、なかなか、阪神百貨店での販促が出来なかったのですが、この3月10日(土)終日店頭に立つことになりました。場所は地下1階の食品売場の一角になると思います。当日は「JAS有機米こしひかり」(無農薬・有機栽培米)と、「香ばし米つぶ」(有機米こしひかりの煎ったもの)の試食(試飲)販売を予定しています。当日は百貨店からの要請もあり、お客様と間違われぬような服装で、ということもあり、「能登の里山里海世界農業遺産」の法被を着て立つ予定です。

■春作業が始まっています

私の地域では、春先に農道の砂利敷きや、水路の泥上げ、農道・水路のゴミ拾いなど、集落総出で行う慣例になっています。しかし主要水路はそれですむのですが、大部分は個々の耕作者が近くの水路の泥上げなどをおこないます。写真は山から流れ出た砂がU字溝を半分以上埋めつくし、自分で上げています。その距離1カ所で80メートルぐらいになる場合も。育苗に使う山土なども乾燥させ、ふるいにかけています。あぜ塗り作業はトラクターにアタッチメントを付け行うのですが田んぼの土の水分の状況を見て行います。

